

宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート 令和5年度》》》令和6年度



宇部市総合政策部行革推進課

基本方針	戦 略	アクションプラン	担当課	関係課
方針1 行政資源の 適切なコントロール	1 収納対策と財源の確保	01 未収債権の発生防止・適正な対応	収納課	債権管理担当課
		02 ふるさと納税等自主財源の獲得推進	移住定住推進課	
	2 持続可能な行財政運営	03 未来投資のための事務事業の見直し	行革推進課	各事業課
		04 規律ある財政運営の実施	財政課	政策企画課、行革推進課
	3 資産の有効活用	05 公共施設マネジメントの推進	財産管理課	施設主管課、財政課、行革推進課
	4 職場環境の整備	06 職員の定員適正化	職員課	
		07 人材育成と職場風土の改革	職員課	
		08 職員の健康管理対策の推進	職員課	
方針2 政策効果の向上	5 政策実施体制の強化	09 EBPMの推進	行革推進課	各事業課
		10 多様な主体との連携・共創	連携共創推進課	中心市街地活性化推進課、北部地域振興課
	6 デジタル化の推進	11 庁内業務のデジタル化	デジタル推進課	総務課、職員課
		12 窓口サービスの効率化	市民課	マイナンバーカード推進課
	7 広報・広聴活動の強化	13 積極的な広報活動の推進	広報広聴課、移住定住推進課	各課
		14 広聴機能の充実	広報広聴課	各課

宇部市行財政改革推進計画アクションプラン目標指標進捗状況一覧(令和5年度実績)

No.	アクション プラン名	主管課	目標指標							No.	アクション プラン名	主管課	目標指標											
01	未収債権の 発生防止・適 正な対応	収納課	項目	現年度分収納率(債権管理計画・主要な債権)							09	EBPMの 推進	行革推 進課	項目	EBPM手法による新規事業の立案割合									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				98.94%	99.05%	99.15%	98.85%	99.00%	99.15%					-	100%	100%	100%	100%	100%					
			実績		98.85%	98.69%				実績					100%	100%								
			評価		B	B				評価		A	A											
			項目	未収債権額(債権管理計画・主要な債権)							10	多様な主体 との連携・ 共創	連携共 創推進 課	項目	共創の手法を用いた共創ロールモデル事業の実施件数(累計) ※うべ・未来共創プラットフォームによる取組を含む									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値	R4	R5	R6	R7	R8					
	2,388,000千円	2,121,796千円	1,849,710千円	2,418,075千円	2,150,110千円	2,030,550千円		-	-	4件				6件	8件	10件								
実績		2,423,363千円	2,390,310千円				実績		1件	4件														
評価		B	C				評価		-	A														
02	ふるさと納税 等自主財源 の獲得推進	移住定 住推進 課	項目	ふるさと納税寄附件数							11	庁内業務の デジタル化	デジタ ル推進 課	項目	業務の自動化(RPA等)を実施している業務									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				3,900件	4,200件	4,400件	4,600件	4,800件	5,000件					17業務	20業務	25業務	28業務	31業務	34業務					
			実績		4,524件	5,873件				実績					19業務	27業務								
			評価		A	A				評価					B	A								
			項目	クラウドファンディング・企業版ふるさと納税額										項目	複合機で印刷した枚数 ※基準値はR3下半期実績。各年度の目標は、各年度下半期のR3年度下半期実績(基準値)に対する割合									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値	R4	R5	R6	R7	R8					
				9,054千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円					4,842千枚	50%	50%	50%	50%	50%					
			実績		6,816千円	20,508千円				実績					81%	76%								
			評価		C	A				評価					C	C								
03	未来投資の ための事務 事業の見直し	行革推 進課	項目	未来投資のための事務事業見直し等による行革効果額 ※基準値は事業費ベース(R4年以降は一般財源額ベース)							12	窓口サービ スの効率化	市民課	項目	マイナンバーカード交付率 ※R5年度からは保有枚数率とする (政府方針「R4年度末までにほぼ全国民に行き渡る」に準拠)									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				2.28億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円					42.7%	100%	100%	100%	100%	100%					
			実績		0.81億円	1.6億円				実績					68.0%	74.4%								
評価		B	A				評価		C	C														
04	規律ある財 政運営の実 施	財政課	項目	財政調整基金残高										13	積極的な広 報活動の推 進	広報広 聴課、 移住定 住推進 課	項目	コンビニ交付・スマート申請の利用率(住民票)						
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標							基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8		
				54億円	50億円	42億円	34億円	32億円	30億円以上								9.4%	13%	18%	23%	27%	30%		
			実績		56億円	48億円				実績								16.1%	32.1%					
			評価		A	A				評価								A	A					
			項目	一般会計地方債残高							項目	市が発信する市政情報がわかりやすいと感じる市民の割合												
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標	基準値	R4	R5				R6	R7	R8					
				695億円	675億円	680億円	680億円	670億円	659億円以下		-	70%	72.5%				75%	77.5%	80%					
実績		663億円	653億円				実績		53.7%	53.8%														
評価		A	A				評価		B	C														
05	公共施設マネ ジメントの推 進	財産管 理課	項目	個別施設計画(最終年度：R11)の進捗率							14	広聴機能の 充実	広報広 聴課	項目	市政懇談会で聴取した意見の内、市政への反映件数									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	数値				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				18%	40%	49%	60%	71%	78%					64件	65件	65件	65件	65件	65件					
			実績		25%	44%				実績					114件	26件								
			評価		C	B				評価					C	C								
			項目	優先的検討規程に基づく 公共施設建設等におけるPPP／PFI手法導入検討割合										項目	うべ未来モニターの回答件数(延べ) ※基準値：実施8回×モニター数810人×回答率41.8%にて算出									
			目標	基準値	R4	R5	R6	R7	R8	数値				基準値	R4	R5	R6	R7	R8					
				-	規程策定	100%	100%	100%	100%					2,708件	2,700件	3,000件	3,300件	3,600件	3,900件					
実績		策定	該当なし				実績		2,776件	2,532件														
評価		A	-				評価		A	B														
06	職員の定員 適正化	職員課	項目	職員数(各年4月1日時点) (定員適正化計画)							08	職員の健康 安全管理対 策の推進	職員課	項目	係長職以下の職員1人当たりの時間外勤務の削減									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				1,073人	1,065人	1,082人	1,072人	1,089人	次期計画で 目標値を設定					11.1時間/月	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下					
			実績		1,068人	1,081人	※目標指標(職員数・総職員数)は、定員適正 化計画における目標値(各年4月1日時点)で あるため、翌年度の目標値へ修正			実績					12.93時間/月	11.58時間/月								
			評価		A	B				評価					B	B								
			項目	総職員数(各年4月1日時点) (定員適正化計画／再任用短時間職員含む)										項目	メンタル不調の職員数の減少 (精神疾患を起因とする病気休暇取得職員の割合)									
目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標	基準値(R3)	R4	R5				R6	R7	R8								
	1,123人	1,131人	1,136人	1,141人	1,144人	次期計画で 目標値を設定		1.6%	1.5%以下	1.5%以下				1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下								
実績		1,120人	1,124人				実績		2.20%	1.68%														
評価		B	B				評価		C	B														
07	人材育成と 職場風土の 改革	職員課	項目	昇任したくないと考える職員の割合							08	職員の健康 安全管理対 策の推進	職員課	項目	係長職以下の職員1人当たりの時間外勤務の削減									
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標				基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8					
				33.7%	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下					11.1時間/月	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下						
			実績		33.4%	30.8%				実績					12.93時間/月	11.58時間/月								
評価		A	A				評価		B	B														
08	職員の健康 安全管理対 策の推進	職員課	項目	係長職以下の職員1人当たりの時間外勤務の削減										08	職員の健康 安全管理対 策の推進	職員課	項目	係長職以下の職員1人当たりの時間外勤務の削減						
			目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標							基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8		
				11.1時間/月	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下								11.1時間/月	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下			
			実績		12.93時間/月	11.58時間/月				実績								12.93時間/月	11.58時間/月					
			評価		B	B				評価								B	B					
			項目	メンタル不調の職員数の減少 (精神疾患を起因とする病気休暇取得職員の割合)							項目	メンタル不調の職員数の減少 (精神疾患を起因とする病気休暇取得職員の割合)												
目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	目標	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8											
	1.6%	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下		1.6%	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下											
実績		2.20%	1.68%				実績		2.20%	1.68%														
評価		C	B				評価		C	B														

	R4	R5
達成(A)	10	10
概ね達成(B)	7	7
未達成(C)	6	6
集計中・評価なし	1	1
	24	24

A: 達成(達成率100%以上)
B: 概ね達成(達成率75%～100%未満)
C: 未達成(達成率75%未満)

	R4	R5
達成(A)	10	10
概ね達成(B)	7	7
未達成(C)	6	6
集計中・評価なし	1	1
	24	24

A: 達成(達成率100%以上)
B: 概ね達成(達成率75%～100%未満)
C: 未達成(達成率75%未満)

■ 宇部市行財政改革推進計画

アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
01	未収債権の発生防止・適正な対応		戦略	1 収納対策と財源の確保
担当課	収納課	関係課	債権管理担当課	
アウトカム (プラン策定時)	市税をはじめとした主要な債権の確実な取得を図ることで、市民負担の公平性の担保と、持続性ある財政基盤の強化を図る。			

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①新たな債務者に対して、3か月以内に電話催告(収納課、保険年金課、高齢者総合支援課)	80%	97.96%	A	①新たな債務者に対して、3か月以内に電話催告(収納課、保険年金課ほか)	98.3%
②債務者への臨戸調査及び搜索(収納課、保険年金課ほか)	400件	1,829件 介護保険特徴処理誤り分含む	A	②債務者への臨戸調査及び搜索(収納課、保険年金課ほか)	500件
③債務者への滞納処分(収納課)	700件	差押債権換価実績687件	B	③債務者への滞納処分(収納課)	700件

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	現年度分収納率は、納期内納付の促進、文書や電話、臨戸訪問による催告を行ったが、目標を0.46ポイント下回った。 未収債権額は、令和4年度と比べ約3,300万円の縮減となっているものの、目標額を約5億4,000万円上回っており、滞納の早い段階で、滞納者の生活状況の把握や財産調査を行い、早期の滞納整理に取り組んでいく。 また、引き続き債権担当課で情報共有を図るとともに、上記取組計画等の実施により、現年度分収納率の向上、未収債権額の減少に向けて取り組んでいく。
目標指標Ⅰ	現年度分収納率(債権管理計画・主要な債権)						
目標	98.94%	99.05%	99.15%	98.85%	99.00%	99.15%	
実績		98.85%	98.69%				
評価		B	B				
目標指標Ⅱ	未収債権額(債権管理計画・主要な債権)						令和6年度取組の設定理由・根拠 ①新たな滞納を発生させないため、納付案内センターによる電話催告を行い、早期納付につなげる。 ②③納付期限を経過したものは、臨戸訪問などによる納付催告を行うとともに、納付の呼びかけに応じていただけない方に対しては、迅速に財産調査の上、慎重に差押えなどの滞納処分の判断を行っていく。 ※R6以降の目標値は、計画期間R6～R8の債権管理計画によるもの。
目標	2,388,000千円	2,121,796千円	1,849,710千円	2,418,075千円	2,150,110千円	2,030,550千円	
実績		2,423,363千円	2,390,310千円				
評価		B	C				

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名			基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
02	ふるさと納税等自主財源の獲得推進			戦略	1 収納対策と財源の確保
担当課	移住定住推進課		関係課		
アウトカム (プラン策定時)	行政サービスの維持や新たな行政ニーズに対応するための新たな歳入の確保と、市プロジェクトへの民間活力の導入を図る。				

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①ふるさと納税のリピーターの増加	800人	1,027人	A	①ふるさと納税のリピーターの増加	800人
②クラウドファンディングの掲載サイトの増加	1サイト増	増加なし	C	②ガバメントクラウドファンディングの拡充	2プロジェクト
③人材派遣型の企業版ふるさと納税を整備	人材派遣可能な企業を発掘	0件	C	③企業版ふるさと納税のPR強化	10社

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	①ふるさと納税については、寄附者数(延べ)5,873人に対し、リピート者は1,027人で、目標を達成した。今後も、新規寄附者層をリピーターにつなげるよう、更なる返礼品の充実を図っていく。 ②令和4年度と同様に2サイトで継続掲載し、プロジェクトの掲載内容を工夫することで、寄附額の増加に繋がった。今後は、主力の1サイトに注力し、SNS発信等により、周知を強化していく。 ③人材派遣型について1件検討したが、人材の引き受け課と派遣する企業との合意が得られず断念。民と官の雇用形態等の合致が課題として残った。
目標指標Ⅰ	ふるさと納税寄附件数						
目標	3,900件	4,200件	4,400件	4,600件	4,800件	5,000件	
実績		4,524件	5,873件				
評価		A	A				令和6年度取組の設定理由・根拠
目標指標Ⅱ	クラウドファンディング・企業版ふるさと納税額						
目標	9,054千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	10,000千円	
実績		6,816千円	20,508千円				
評価		C	A				①ふるさと納税については、寄附額を増加させるための取り組みとして、リピーター数の増加を目指しつつ、返礼品種類の幅を広げて新規寄附者数も増加させること。また、宇部市の特産品を新規開拓し市外県外へ周知することで寄附者を開拓していく。 ②社会的課題、地域課題の解決に資する事業を行う個人や団体を支援するためのガバメントクラウドファンディングを創設し、資金面をサポートする。 ③企業版ふるさと納税については、周知を強化しつつ、企業の新規開拓を図り、寄附に繋げていく。

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■

宇部市行財政改革推進計画

アクションプラン

検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
03	未来投資のための事務事業の見直し		戦略	2 持続可能な行財政運営
担当課	行革推進課	関係課	実施:各事業課	
アウトカム (プラン策定時)	事務事業を見直すことにより、未来志向の施策・事業に投資していくサイクルを構築し、効率的・効果的な行財政運営を実施する。			

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①事務事業の見直しプロセス・体制の強化	外部視点での検証体制強化	行財政改善委員会による検証:4事業	A	①事務事業の見直しプロセス・体制の強化	外部視点での検証体制強化
②見直しを検討した事業数 (オータムレビュー対象事業)	339事業 (20事業)	339事業 (20事業)	A	②見直しを検討した事業数 (サマーレビュー対象事業)	347事業 (23事業)
③業務の再構築(BPR)を実施	3業務	4業務	A	③業務の再構築(BPR)を実施	2業務

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	限られた行政資源で最大の政策効果を発揮することを目標に、事業の必要性や効果について、エビデンスに基づく自律的な点検・見直しと、財政の持続性に留意したスクラップ＆ビルドを積極的に推進した。併せて、外部視点からの検証(行財政改善委員会)も行い、事務事業見直しの実効性を高めた。 また、BPRの手法を活用し、対象業務(4業務)の詳細分析や業務プロセスの最適化に向けた改善策の立案、業務マニュアルの整備を行った。 (令和6年度当初予算に反映された事務事業見直しの効果額は、事業費ベース約3億2600万円、一般財源ベース約1億6000万円。)
目標指標Ⅰ	未来投資のための事務事業見直し等による行革効果額 ※基準値は事業費ベース(R4年以降は一般財源額ベース)						
目標	2.28億円	1億円	1億円	1億円	1億円	1億円	
実績		0.81億円	1.6億円				
評価		B	A				
目標指標Ⅱ							令和6年度取組の設定理由・根拠 客観的根拠に基づく政策立案や効果検証を行うEBPMの取組を更に推進し、事業の必要性や効果についてデータ等による検証と見直しを進める。 また、業務を適正かつ効率的に執行するために、引き続き、BPRに取り組み、業務プロセスの効率化・最適化を図る。
目標							
実績							
評価							

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
04	規律ある財政運営の実施		戦略	2 持続可能な行財政運営
担当課	財政課	関係課	政策企画課、行革推進課	
アウトカム (プラン策定時)	中長期視点に立った健全で持続可能な財政運営を実施する。			

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①財政調整基金の留保(積立額一取崩額)	△788,000千円	△766,253千円	A	①財政調整基金の留保(積立額一取崩額)	△789,000千円
②市債の繰上償還の実施	70,000千円	20,290千円	C	②市債の繰上償還の実施	80,000千円

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	増大する行政需要への対応に加え、令和5年6月から7月にかけて発生した豪雨災害の復旧等に財政調整基金は大幅な取り崩しを余儀なくされたが、EBPMに基づく行財政改革の推進や基金の統廃合など留保に努めた結果、残高は令和5年度目標値を6億円上回った。 また、解散した土地開発公社から受け継いだ産業団地等の販売促進に努め、これを財源とした第三セクター等改革推進債の繰上償還を実施するとともに、建設地方債の発行を抑制した結果、一般会計地方債残高は令和5年度目標値を27億円下回った。
目標指標Ⅰ	財政調整基金残高						
目標	54億円	50億円	42億円	34億円	32億円	30億円以上	
実績		56億円	48億円				
評価		A	A				
							令和6年度取組の設定理由・根拠
目標指標Ⅱ	一般会計地方債残高						令和4年3月に策定した「中期財政見通し」において、財政の持続性への影響が大きい財政調整基金残高及び一般会計地方債残高を指標として設定しており、予算の編成、執行の過程で管理していくこととしている。
目標	695億円	675億円	680億円	680億円	670億円	659億円以下	
実績		663億円	653億円				
評価		A	A				

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針
05	公共施設マネジメントの推進		戦略
担当課	財産管理課	関係課	施設主管課、財政課、行革推進課
アウトカム (プラン策定時)	財政状況や人口規模に最適化された安全で持続可能な公共施設運営体制を確立する。		

令和5年度の実組実績							令和6年度の実組計画	
インプット(具体的な実組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な実組内容)		アウトプット(計画)
①個別施設計画の進捗・予算配分の管理			進捗率 44%	進捗率 44%	A	①個別施設計画の進捗・予算配分の管理		進捗率 51%
②「売却・解体」を具体的に検討した施設数			8施設	4施設	C	②「売却・解体」を具体的に検討した施設数		8施設
③「宇部市PPP／PFI優先的検討指針」に基づく導入検討の推進			対象案件の把握と漏れない検討実施	R5.11月庁内照会を実施(該当なし)	－			
目標指標達成状況							令和5年度実組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	個別施設計画の進捗・予算配分の管理については、新たに創設された「個別施設等保全管理基金」を改修等の財源として活用し、計画を着実に進めることができた。また、公共施設の「売却・解体」の検討については、勤労青少年会館の土地と建物の一体的な売却をはじめ、他3施設について解体の実施及び解体・売却の検討を行った。 「宇部市PPP／PFI優先的検討指針」の対象案件については、11月に庁内照会を行ったが、該当案件がなかった。	
目標指標Ⅰ	個別施設計画(最終年度：R11)の進捗率							
目標	18%	40%	49%	60%	71%	78%		
実績		25%	44%					
評価		C	B				令和6年度実組の設定理由・根拠	
目標指標Ⅱ	優先的検討規程に基づく 公共施設建設等におけるPPP／PFI手法導入検討割合						個別施設計画の進捗管理については、引き続き、優先度の高いものから予算を配分し、計画を直実に進めていく。 「売却・解体」の検討については、勤労青少年会館の売却事例を参考にして、建物と土地の一体的な売却を推進していく。	
目標	－	規程策定	100%	100%	100%	100%		
実績		策定	該当なし					
評価		A	-					

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名			基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
06	職員の定員適正化			戦略	4 職場環境の整備
担当課	職員課		関係課		
アウトカム (プラン策定時)	人員体制の最適化を実現することで質の高い行政サービスを提供する。				

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①R6年4月の正規職員の採用	50人	43人	B	①R7年4月の正規職員の採用	58人
②通年募集による正規職員の採用(①の内数)	18人	17人	B	②通年募集による正規職員の採用(①の内数)	12人
③仕事セミナーの実施(参加者)	50人	32人	C	③仕事セミナーの実施(参加者)	35人
④60歳以上の職員の効果的な活用(職域の拡大)	5職場	5職場	A		

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	通年募集については、年間を通して実施し、行政職の確保については一定の効果があったが、土木・建築職については、想定した人数の確保が困難であった。仕事セミナーの実施だけでなく、市内の小中学校・高校でも市の仕事を紹介できる場があり、将来になりたい職業の一つと思ってもらえるように取り組んだ。 仕事セミナーの開催について、参加した方からは市の仕事を知ることができてよかったとの声も多いが、一方で参加者数は伸び悩んでおり、参加者増に向けた周知が必要である。
目標指標Ⅰ	職員数(各年4月1日時点) (定員適正化計画)						
目標	1,073人	1,065人	1,082人	1,072人	1,089人	次期計画で 目標値を設定	
実績		1,068人	1,081人	※目標指標（職員数・総職員数）は、定員適正化計画における目標値（各年4月1日時点）であるため翌年度の目標値へ修正			
評価		A	B				
目標指標Ⅱ	総職員数(各年4月1日時点) (定員適正化計画／再任用短時間職員含む)						令和5年度から開始した行政職・土木職・建築職の通年募集・採用を、令和6年度においても実施するとともに、試験内容の見直しも行うことで、人材の確保へ繋げる。 仕事セミナーについては、情報発信に力を入れ、参加者の増に努める。
目標	1,123人	1,131人	1,136人	1,141人	1,144人	次期計画で 目標値を設定	
実績		1,120人	1,124人				
評価		B	B				

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名			基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
07	人材育成と職場風土の改革			戦略	4 職場環境の整備
担当課	職員課		関係課		
アウトカム (プラン策定時)	「自ら考え、自ら行動する組織」へステップアップすることで、市民サービスの向上を図る。				

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①各種職員研修の開催	41回	35回	B	①各種職員研修の開催	34回
②早稲田大学マニフェスト研究所人材マネジメント「管理職」及び「通常」部会への参加	管理職4人 一般職3人	管理職4人 一般職3人	A	②早稲田大学マニフェスト研究所による講義実施(課長職対象)	95人
③職員サポート制度の活用	のべ24人	94人	A	③職員サポート制度の活用(累計)	130人

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	職員研修の実施により、職員の資質向上を図った。 課長職・係長職の人材マネジメント部会への参加により、市の現状や将来像、機能的な組織づくり等を学ぶ機会を提供するなど、人材育成の充実を図った。 職員サポート制度においては、当初計画に比して目標以上の利用があり、時間外勤務が多い職場の労働負担の軽減に加え、職員の幅広い知識の習得、労働意欲の向上及びコミュニケーションの活性化に繋がった。
目標指標Ⅰ	昇任したくないと考える職員の割合						
目標	33.7%	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下	33.7%以下	
実績		33.4%	30.8%				
評価		A	A				
							令和6年度取組の設定理由・根拠
目標指標Ⅱ							キャリアデザイン研修や公務員倫理研修など、効果的な研修の実施に努める。また、人材マネジメント部会の活用については、外部講師による課長級職員を対象にした講演を開催し、組織論や人材育成論の習得など、マネジメント能力の強化を図る。 職員サポート制度については、時間外勤務が多い職場の労働負担の軽減に加え、職員の幅広い知識の習得、他職場の職員との交流に繋がるため、活用数の増に取り組む。
目標							
実績							
評価							

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名	基本方針	1 行政資源の適切なコントロール
08	職員の健康管理対策の推進	戦略	4 職場環境の整備
担当課	職員課	関係課	
アウトカム (プラン策定時)	職員の時間外勤務の縮減と休暇の取得促進等により、心身ともに健康な職員が増えることで、仕事のパフォーマンスが高まり、質の高い行政サービスが提供されている。		

令和5年度の実組実績							令和6年度の実組計画	
インプット(具体的な実組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な実組内容)		アウトプット(計画)
①時間外勤務管理システムの運用と活用			時間外勤務状況の可視化	時間外勤務状況の可視化及び報告	A	①時間外勤務管理システムの運用と活用		時間外勤務状況の可視化及び報告
②ノー残業デーの実践・強化			実施率 95%	実施率 86%	B	②ノー残業デーの実践・強化		実施率 95%
③EAP業者によるコンサルテーション			20部等	24部等	A	③EAP業者によるコンサルテーション		24部等
④バランススコア制度の導入			試行運用と制度構築	毎月の集計と定期的な報告・表彰	A	④バランススコア制度の導入		制度検証と周知啓発
目標指標達成状況							令和5年度実組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	新庁舎への移転、新型コロナウイルス、マイナンバー関連業務などが落ち着いたことに加え、時間外勤務管理システムの運用により、前年と比べ、全体の時間外勤務は減少した。 また、EAP事業による研修や相談窓口の設置など、職員の健康推進に経年的に取り組んでいるほか、働き方及び職場環境の改善に向け、バランススコア制度の試行運用を開始した。	
目標指標Ⅰ	係長職以下の職員1人当たりの時間外勤務の削減							
目標	11.1時間/月	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下	10時間/月以下		
実績		12.93時間/月	11.58時間/月					
評価		B	B				令和6年度実組の設定理由・根拠	
目標指標Ⅱ	メンタル不調の職員数の減少 (精神疾患を起因とする病気休暇取得職員の割合)						バランススコア制度の検証と周知啓発を行うことで、働き方及び職場環境改善に取り組むとともに、業務効率化・スクラップ等に向けた意識改革を行う。 EAP業者と連携し、各部へのコンサルテーションに加え、職場ドックを活用するなど、職場単位での自立した環境改善に繋げる。	
目標	1.6%	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下	1.5%以下		
実績		2.20%	1.68%					
評価		C	B					

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	2 政策効果の向上
09	EBPMの推進		戦略	5 政策実施体制の強化
担当課	行革推進課	関係課	実施:各事業課	
アウトカム (プラン策定時)	政策立案や事業実施にあたって、エビデンス(合理的根拠)に基づいて現状分析や成果検証を行うことで、政策効果の高い事業を実施し、市民の市政に対する満足度を高める。			

令和5年度の実績				令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①-1 EBPM研修(実務担当者)の実施 半日×2回 ①-2 EBPM実践セミナー(データ利活用・分析)の実施 120分×2回 ①-3 市民意識調査・分析結果説明会 90分×1回	参加者数 約80名	参加者数 ①-1 係長・主任職 44名 ①-2 副課長・係長職 50名 ①-3 次長職21名	A	①EBPMやBPRなど、行革の取組を掲載した「行革通信」の発行による庁内職員への周知啓発	2回/年
②事務事業見直し時に各課とのヒアリングを通じて各課の取組状況の把握とアドバイスを実施	全課	・取組状況把握 全課 ・ヒアリング実施 30課	A	②各課ヒアリング(事務事業見直し時)を通じて、各課の行革に関する取組状況の把握とアドバイスを実施	全課

目標指標達成状況							令和5年度取組の総括
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	職員個々のEBPMマインドの醸成を図るため、実務担当者(係長・主任職)を対象としたEBPM理解促進セミナーや、副課長・係長職を対象としたデータ利活用・分析セミナー、次長職を対象とした市民意識調査・分析結果説明会を実施した。 また、各課ヒアリングを通じて、各職場での行革に係る取組を把握するとともに、効率的・効果的な手法等について助言を行った。
目標指標Ⅰ	EBPM手法による新規事業の立案割合						
目標	—	100%	100%	100%	100%	100%	
実績		100%	100%				
評価		A	A				
							令和6年度取組の設定理由・根拠
目標指標Ⅱ							引き続き、各課ヒアリング等を通じて、各職場へのEBPMの普及浸透を図る。 また、EBPMやBPR、職員提案など、本市の行革の取組を掲載した「行革通信」を作成し、広く職員に周知することにより、職員のEBPMマインドを高める。
目標							
実績							
評価							

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	2 政策効果の向上
10	多様な主体との連携・共創		戦略	5 政策実施体制の強化
担当課	連携共創推進課	関係課	中心市街地活性化推進課、北部地域振興課	
アウトカム (プラン策定時)	多様な主体が、地域の現状分析や課題の設定段階から連携し、地域の将来ビジョンを共有して取り組む「共創」の手法により各事業を効果的に進め、地域課題の解決へ寄与する。			

令和5年度の実組実績							令和6年度の実組計画	
インプット(具体的な取組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)		アウトプット(計画)
①共創セミナーの開催			1回開催	1回(広報うべ3月号にて共創特集掲載)	A	①共創の手法を用いた共創ロールモデル事業の実施件数(令和4年度以降累計) ※うべ・未来共創プラットフォームによる取組を含む		6件
②共創の手法を用いた共創ロールモデル事業の実施件数(令和4年度以降累計) ※うべ・未来共創プラットフォームによる取組を含む			4件	4件	A	②宇部市×実証実験事業応援制度による宇部市公認事業の選定		1件
						③市民ポイント制度の制度設計及び運用開始		10月開始
目標指標達成状況							令和5年度取組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	ロールモデル事業として、「常盤通りウォークアブル化」に加え、新たに「北部オープンプラットフォームラボ」、うべ・未来共創プラットフォームにおける「認知症WG」、「中心市街地活性化WG」を開設し、共創の手法を用いた取組を推進した。また、高校生や大学生をはじめとした若者のまちづくりへの参画促進を図るため、探求事業における支援や連携、学生と若手職員との意見交換会を開催した。さらに、本市をフィールドに実施された社会貢献活動であるトヨタ自動車株式会社のプロボノ活動など、市民や企業・団体等と幅広く連携を図り、共創のまちづくりを推進した。	
目標指標Ⅰ	共創の手法を用いた共創ロールモデル事業の実施件数(累計) ※うべ・未来共創プラットフォームによる取組を含む							
目標	-	-	4件	6件	8件	10件		
実績		1件	4件					
評価		-	A				令和6年度取組の設定理由・根拠	
目標指標Ⅱ							うべ・未来共創プラットフォームでは、「若者定着WG」を立ち上げるとともに「認知症WG」において新たな取組を検討し実施していく予定。 宇部市×実証実験事業応援制度や市民ポイント制度、SDGs補助金などを通じて、市民や企業、団体、学生等との連携を拡大し、共創のまちづくりを更に拡大する。	
目標								
実績								
評価								

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	2 政策効果の向上
11	庁内業務のデジタル化		戦略	6 デジタル化の推進
担当課	デジタル推進課	関係課	総務課、職員課	
アウトカム (プラン策定時)	安心・安全に利用できる新庁舎等の端末利用環境を整備し、デジタルワークスタイルを確立することで、行政事務の効率化及び市民サービスの向上を図る。			

令和5年度の実績							令和6年度の実績計画		
インプット(具体的な取組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)		評価	インプット(具体的な取組内容)		アウトプット(計画)
①安心・安全な利用環境の維持			最適な利用環境の提供	・配付を必要とする職員に随時PCを配付 ・ネットワーク環境の維持		A	①安心・安全な利用環境の維持		最適な利用環境の提供
②業務の自動化(RPA等)の推進			22業務	27業務		A	②業務の自動化(RPA等)の推進		28業務
③ビジネスチャットツールの推進			情報共有と意思決定の迅速化	・配付PCへの全台インストール済 ・希望者へのスマートフォン登録随時実施		A	③ビジネスチャットツールの推進		情報共有と意思決定の迅速化
④ペーパーレス会議の推進			原則、紙資料の配付なし	原則、紙資料の配付なし		B	④ペーパーレス会議の推進		原則、紙資料の配付なし
目標指標達成状況							令和5年度取組の総括		
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	①採用等によりモバイルPCを必要とする職員へ③ビジネスチャットツールをプリインストールしたPCを配付することで、配付直後から情報共有と意思決定の迅速化を実現している。また、Wi-Fi環境の整備により、各職員がPC持参で会議等に参加可能としており、④ペーパーレス会議の推進に寄与している。 ②業務の自動化については、端末依存型からサーバ通信型へのRPAツールの見直しを行い、少数のライセンス数であっても多くの担当課がRPAを実行できる環境を整備した。また、県や他市町とのRPAシナリオやノウハウの横展開を想定し、他自治体においてもニーズの高いツールへの見直しを実施したことにより、RPA化検討の幅を広げるとともに、自治体間業務の平準化にもつながる取組を実施した。 ④ペーパーレス化の取組については、ペーパーレス会議の推進と毎週火曜・木曜のノーブリンクデーの継続実施を行いつつ、各課での申請等のデジタル化を促進した。また、複合機の更新時期に合わせて、設置台数を85台から80台に減らし、よりペーパーレス化を促進する環境を整備した。これらにより、複合機使用枚数を50%削減の目標に対し、実際の削減率は24%となった。		
目標指標Ⅰ	業務の自動化(RPA等)を実施している業務								
目標	17業務	20業務	25業務	28業務	31業務	34業務			
実績		19業務	27業務						
評価		B	A				令和6年度取組の設定理由・根拠 ①については、現在の利用環境を維持していく。 ②については、宇部市DX推進計画アクションプランにて目標指標としていることから、その数値を設定した。 ③については、引き続き利活用を推進(周知啓発等)していく。 ④令和5年度目標が未達成であったことから、職員のペーパーレスへの意識(コスト面を含む)を高めていくとともに、アナログ規制などについても点検を進めていく。		
目標指標Ⅱ	複合機で印刷した枚数 ※基準値はR3下半期実績。各年度の目標は、各年度下半期のR3年度下半期実績(基準値)に対する割合								
目標	4,842千枚	50%	50%	50%	50%	50%			
実績		81%	76%						
評価		C	C						

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画

アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名			基本方針	2 政策効果の向上
12	窓口サービスの効率化			戦略	6 デジタル化の推進
担当課	市民課		関係課	マイナンバーカード推進課	
アウトカム (プラン策定時)	窓口手続のデジタル化・ワンストップ化の推進により、利用者の利便性向上と行政事務の効率化を図る。				

令和5年度の取組実績							令和6年度の取組計画	
インプット(具体的な取組内容)				アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)	アウトプット(計画)
①市民センター・総合支所への総合窓口支援システム(おくやみ)試行導入				試行開始	R6.1月 試行開始	A	①引越しワンストップの利用促進	利用率 30%
②引越しワンストップの利用促進				利用率 30% (R4年度約13%)	利用率24.3%	B	②マイナンバーカード出張申請サポートの強化	大型商業施設出張 60回 +オンライン窓口 247日
③本庁での自動交付機利用促進				利用率 10% (R4年度約2%)	利用率14.4%	A	③オンライン窓口の拡充(住民異動届)	運用開始
④マイナンバーカード出張申請サポートの強化				出張回数 160回	出張32回 +オンライン窓口 194日	A	④コンビニ交付サービスの周知啓発 (広報掲載、チラシ同封・配布)	広報2回 チラシ20回
目標指標達成状況							令和5年度取組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	①センター等へのおくやみワンストップ導入は計画どおり実施。 ②引越しワンストップの利用促進は、企業や学校等への勸奨文書送付や広報うべ、市公式ウェブサイト等での周知を行ったが、利用率は目標を下回り、更なる周知啓発が必要。 ③本庁での自動交付機利用促進については、コンビニ交付手数料の減額及び自動交付機への誘導・操作補助により、利用率は目標を上回った。 ④マイナンバーカード出張申請サポートは、本庁のオンライン窓口、市内28か所の郵便局や大型商業施設で申請サポートを行い、利用促進を図ることができた。	
目標指標Ⅰ	マイナンバーカード交付率 ※R5年度からは保有枚数率とする (政府方針「R4年度末までにほぼ全国民に行き渡る」に準拠)							
目標	42.7%	100%	100%	100%	100%	100%		
実績		68.0%	74.4%					
評価		C	C					
							令和6年度取組の設定理由・根拠	
目標指標Ⅱ	コンビニ交付・スマート申請の利用率(住民票)						①、③オンライン窓口で引越しワンストップサービスを活用した住民異動届作成支援を行い、窓口の混雑緩和を図るとともに、手続デジタル化の周知啓発に繋げる。 ②マイナンバーカード出張申請サポートは、令和5年度に行った取組を継続・拡充し、マイナカーなどにより少人数の要請でも出張申請が行える体制を強化する。 ④コンビニ交付は、証明発行の繁忙時期に合わせ広報うべ、市ウェブサイト、市公式LINE等で周知する。また、住民票等の提出が必要な手続に係る文書発送の際のチラシ同封、高校へのチラシ配付依頼、イベントでのチラシ配布等を行う。	
目標	9.4%	13%	18%	23%	27%	30%		
実績		16.1%	32.1%					
評価		A	A					

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名	基本方針	2 政策効果の向上
13	積極的な広報活動の推進	戦略	7 広報・広聴活動の強化
担当課	広報広聴課・移住定住推進課	関係課	各課
アウトカム (プラン策定時)	市政情報を効果的にわかりやすく発信し、市政に対する理解や納得感を高めるとともに、本市の魅力を市内外に広くPRすることで、本市のイメージアップ・認知度の向上を図り、関係人口の拡大や定住の促進等につなげていく。		

令和5年度の実組実績							令和6年度の実組計画	
インプット(具体的な実組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な実組内容)		アウトプット(計画)
①ウェブサイト、広報うべ、ラジオ、メール、市長YouTube、SNSなど、様々な広報媒体を組み合わせた効果的な情報発信			市ウェブサイトの閲覧数250万回	297万回	A	①ウェブサイト、広報うべ、ラジオ、メール、市長YouTube、SNSなど、様々な広報媒体を組み合わせた効果的な情報発信		市ウェブサイトの閲覧数250万回
②広報研修会の開催			参加者数約40名	参加者数130名	A	②公式LINE登録者数		28,000人
③発信力のある「ふるさと大使」に特産品を送付することで、ふるさと大使の自発的なSNS発信を期待			リーチ人数180万人	リーチ人数240万人	A	③発信力のある「ふるさと大使」に特産品を送付することで、ふるさと大使の自発的なSNS発信を期待		リーチ人数240万人
目標指標達成状況							令和5年度実組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	各部署が行う事業やイベント等を予め把握し、事業やイベント効果の最大化を図るため、計画的かつ様々な広報媒体の特性を踏まえ、情報発信を行った。 職員が「全員広報 全員広聴」を進めるため、職員研修会を行った。	
目標指標Ⅰ	市が発信する市政情報がわかりやすいと感じる市民の割合							
目標	—	70%	72.5%	75%	77.5%	80%		
実績		53.7%	53.8%					
評価		B	C				令和6年度実組の設定理由・根拠	
目標指標Ⅱ	宇部市の認知度						各部署が行う事業やイベント等を予め把握し、事業やイベント効果を最大とするよう計画的に、また様々な広報媒体の特性を活用して情報発信を行う。 職員が「全員広報 全員広聴」を進めることと、市ウェブサイトの使い方、10月拡充予定の市公式LINEの使い方などの職員研修会を行い、公式LINE登録者数の増を図る。 公式LINE登録者増により、市民に情報がしっかり届く体制を構築する。	
目標	366位	300位	285位	280位	275位	270位		
実績		351位	310位					
評価		C	C					

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）

■ 宇部市行財政改革推進計画 アクションプラン検証シート

令和 5 年度

No.	アクションプラン名		基本方針	2 政策効果の向上
14	広聴機能の充実		戦略	7 広報・広聴活動の強化
担当課	広報広聴課	関係課	各課	
アウトカム (プラン策定時)	幅広い層の市民から、市政についての課題や提案・意見等を聴取し、市政に反映することを通して、市民満足度の高い共創によるまちづくりにつなげる。			

令和5年度の実績							令和6年度の実績計画	
インプット(具体的な取組内容)			アウトプット(計画)	アウトプット(実績)	評価	インプット(具体的な取組内容)		アウトプット(計画)
①市内全地区や各種団体等との市政懇談会を開催する。			開催回数18回	開催回数16回	B	①企業、市民活動団体、同業種組合、学校等との「市長と語ろう！うべ未来トーク」を開催する。		開催回数5回
②うべ未来モニターへのアンケートだけでなく、若者との市政懇談会を開催する。			意見・提案 30件	意見・提案31件	A	②うべ未来モニターへのアンケートだけでなく、高校生や大学生との「市長と語ろう！うべ未来トーク」を開催する。		意見・提案 30件
目標指標達成状況							令和5年度取組の総括	
年度	基準値(R3)	R4	R5	R6	R7	R8	・市政懇談会を市内12中学校区及び市民団体等と開催(16回)聴取した意見の内、市政への反映件数26件 ・うべ未来モニターに対して市政に関するアンケートを9回実施モニター数は910人(R6.3.31現在)	
目標指標 I	市政懇談会で聴取した意見の内、市政への反映件数							
目標	64件	65件	65件	65件	65件	65件		
実績		114件	26件					
評価		A	C				令和6年度取組の設定理由・根拠 ・市政懇談会を企業、市民活動団体、同業種組合、学校等と開催する予定(5回)。高校生や大学生との懇談は、市内全高校(10校)と大学生に参加を呼びかける。 ・うべ未来モニターに対し、市政に関するアンケートを実施予定(8回程度)。うべ未来トーク参加者(高校生、大学生)に、モニター登録を呼びかける(2回)。	
目標指標 II	うべ未来モニターの回答件数(延べ) ※基準値:実施8回×モニター数810人×回答率41.8%にて算出							
目標	2,708件	2,700件	3,000件	3,300件	3,600件	3,900件		
実績		2,776件	2,532件					
評価		A	B					

「評価」については、A：達成（達成率100％）、B：概ね達成（達成率75％～100％未満）、C：未達成（達成率75％未満）